

一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会 プライマリ・ケア認定薬剤師研修会

「薬剤師の未来像」

「かかりつけ医機能、総合診療専門医、家庭医療専門医を整理する」

(2023年6月4日 日曜日【午前】)オンライン開催案内

【一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会は日本医学会の第109分科会です。そして、プライマリ・ケア認定薬剤師制度は公益社団法人薬剤師認定制度認証機構(CPC)から「特定領域」の認定制度としての認証(認証番号P02)を取得いたしております。】

前半「プライマリ・ケアにおいて薬剤師が担うべき領域は広く、セルフメディケーションの支援、リフィル処方箋を通じた慢性疾患の管理、予防などを行うことで、医療の質を高めつつ、医療費の効率化に貢献できる。一方、既存の対物業務は、調剤補助員へのタスクシフトや機械の活用などにより、合理化を進めるべきである。」

後半「今年2月、政府はかかりつけ医機能の制度整備などを盛り込んだ法律案を閣議決定し、慢性疾患や日常的な疾患を診療し、在宅医療を提供し、入退院時の支援を行う、介護サービスと連携するなどの機能を医療法に位置づけることを目指している。かかりつけ医、総合診療医、総合医、家庭医療専門医など、類似の言葉が多くある中でそれぞれどう違うのか、改めて整理し、今後の国の医療施策の方向性を占う。」今回は新型コロナウイルス感染症の拡大を考慮し、ZOOMを使ったオンライン研修会とさせていただきます。研修に参加するには、一人一台のインターネットに接続可能なPC(カメラとマイク付き)、またはタブレットが必要となります。スマートフォンでの参加はご遠慮願います。

(細則による必須領域：A, E, G, H, I, J)

要 項		
1	主 催	一般社団法人 日本プライマリ・ケア連合学会 薬剤師部会研修担当
2	研修期間	2023年6月4日(日)【午前】9:20~12:30
3	研修会場	ZOOMを利用したオンラインでの研修会になります。お申し込みで入力したメールアドレスに配信URLを送付いたしますので、開始時間になりましたら、そのURLをクリックして研修会にご参加下さい。研修会終了後、グーグルフォームへのアンケートに当日中にご回答下さい。
4	認定単位	薬剤師:2単位(認定薬剤師単位)、医師:1.5単位(更新のための単位)
5	受講資格	薬剤師、医師、歯科医師、看護師、医療職、医療関係者
6	定員	80名(講義形式)
7	受講申込	締め切り:2023年5月19日(金)午後5時 ホームページからの申込による先着順となり、定員になり次第締め切ります。 電話、ファクシミリ、メールによる申込は受付けておりません。
8	受講振込	申込書を受信後、順次ご入金方法についてご案内させていただきます。 ※ 指定期日にお振込みの確認ができない方は、キャンセル扱いとなりますのでご留意願います。
9	受講料	5,500円 但し、日本プライマリ・ケア連合学会会員は4,000円 ※ 受講料入金後のキャンセル又は欠席の場合、原則として受講料の返金はできません。

申し込み先：日本プライマリ・ケア連合学会事務局担当係プライマリ・ケア認定薬剤師研修会事務局
〒550-0001 大阪府大阪市西区土佐堀1-4-8 日栄ビル703A 有限会社あゆみコーポレーション内

TEL:06-6449-7760 FAX:06-6441-2055 j pca@a-youme.jp

プログラム

2023年6月4日(日曜日)

9:20~10:50	<p>「薬剤師の未来像」</p> <p style="text-align: right;">講師：成瀬 道紀</p> <p>わが国の薬局薬剤師の業務は処方箋調剤が中心であるが、本来、プライマリ・ケアにおいて薬剤師が担うべき領域は広い。セルフメディケーションの支援、リフィル処方箋を通じた慢性疾患の管理、予防などである。これらを薬物療法の専門家たる薬剤師が行うことで、医療の質を高めつつ、医療費の効率化に貢献できる。一方、既存の対物業務は、調剤補助員へのタスクシフトや機械の活用などにより、合理化を進めるべきである。</p> <p>(細則による必須領域 A, E, H, I)</p>
10:50~11:00	休憩
11:00~12:30	<p>「かかりつけ医機能、総合診療専門医、家庭医療専門医を整理する」</p> <p style="text-align: right;">講師：山崎 大作</p> <p>今年2月、政府はかかりつけ医機能の制度整備などを盛り込んだ法律案を閣議決定し、慢性疾患や日常的な疾患を診療し、在宅医療を提供したり、入退院時の支援を行う、介護サービスと連携するなどの機能を医療法に位置づけることを目指している。かかりつけ医、総合診療医、総合医、家庭医療専門医など、類似の言葉が多くある中でそれぞれどう違うのか、改めて整理し、今後の国の医療施策の方向性を占う。</p> <p>(細則による必須領域 A, E, G, J)</p>

20分以上の遅刻・早退は原則単位になりませんのでご注意ください。

【講師紹介】

氏名：成瀬 道紀

所属：株式会社 日本総合研究所 調査部

氏名：山崎 大作

所属：日経メディカル